

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月12日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|---------------------------|-----------|---------------|
| 団体名 | 一般財団法人沖縄 テイノベーション戦略センター | 代表者名 | 稲垣純一 |
| 担当者部署 | 行政DXセクション | 連絡先電話番号 | 090-9783-9256 |
| 担当者役職 | コンサルタント | 担当者氏名 | 玉城重憲 |
| | | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 900-0004 沖縄県那覇市銘苅2-3-6 | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | |
|-------|------|-----------|--------------|
| 団体名 | 沖縄県 | 連絡先部署 | 企画部デジタル社会推進課 |
| 担当者氏名 | 福原兼悟 | 連絡先電話番号 | 098-917-0755 |
| | | 連絡先E-mail | |

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 庄司 昌彦 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 自治体DXセミナーを開催しました。国の最新動向や今後、自治体を実施しなければならない事項についてわかりやすく説明頂きました。また、意見交換会では、県や市町村の担当者からの質問に対し、丁寧にわかりやすく回答頂きました。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 沖縄県の市町村が抱える課題についてアドバイスを頂きたい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|------------------------|--------------|------------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
| | 令和4年11月4日 | 講演(実地) | 有 | 令和4年10月18日 | 319 |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和4年11月7日 | 講演（実地） | 13時30分 | 17時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 210 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | Okinawa Innovation Lab | 最寄駅 | 県庁前駅 | |
| | 所在地 | 沖縄県那覇市久茂地3丁目10-1 | 最寄駅からの交通手段 | ゆいレール | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 自治体職員、ISCO職員、沖縄県職員 | 63人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | |
| | 沖縄県内に市町村の自治体DX推進を支援するため ・各市町村における、首長、CIO、CIO補佐官等を含めた全庁的なマネジメント体制の構築 ・特に小規模町村における個別施策の着実な推進 | |
| | 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | |
| | 2022年夏に改定された「自治体DX推進手順書」に沿って、各市町村が推進できる体制を構築する。 | |
| | アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | |
| | ・2025年度までに、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへの移行に向け市町村が実施する事 ・マイナンバー普及、オンライン申請の拡大に向けた課題と取り組み ・自治体DXを進める上で、市町村が実施すべきこと・考えるべきこと | |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 本セミナーにおいては20自治体、37名に参加し、その中には副市長(CIO)や室長、課長も12名参加頂くことができた。講演と共にリアルな意見交換会の時間を設定し、自治体が困っている事項やこれから実施、準備すべきことを伝えられたことは目標である、自治体DXの推進に大きく貢献できたと考える。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 特になし | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 有効回答数は現段階で29件で、そのすべてが「大変参考になった」(15件)、「参考になった」(14件)であった。コメントも「標準化について、先生の知見や国での議論の様子が分かり大変参考になった。」「基礎的な部分含め説明いただけただけで、とてもわかりやすかったです。」等の意見 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | | |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

行政DXに関する国の動向・市町村が次年度実施すべき事項

講師 庄司 昌彦氏
 琉球大学 社会学部 教授
 デジタル庁オープンデータ推進部
 総務省 自治体システム等標準化検討委員会 座長

申込フォーム
<https://paperkit.net/jp/717/R56>
<https://l.gywan.com/jp/717/R56>



